

＜ペット用品統計調査の目的＞

本調査は、「ペットフード安全法」が平成21年6月に施行され、ペット業界への関心が益々高まっていることから、ペット用品産業の出荷動向等の実態を把握し、今後のペット用品産業の取り組み施策への資料として活用いたします。

そのため、今回は、平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)と平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の2年間につき、同一会社からの実態調査を行いました。

また、本調査から求められたペット用品の生産・出荷金額や流通実態につきましては、ペット用品業界のみでならず経済産業省等の関係省庁でも行政施策の基礎資料として活用されております。

＜調査方法＞

一般社団法人日本ペット用品工業会会員企業以外のメーカー様にもアンケートにご協力いただきました118社の出荷金額実績の集計です。

＜調査結果＞

	平成25年度出荷金額	平成26年度出荷金額	前年比	回答社数
犬用品 計	101,721百万円	100,201百万円	98.5%	83社
猫用品 計	27,782百万円	30,139百万円	108.5%	56社
観賞魚用品 計	15,187百万円	14,277百万円	94.0%	24社
小動物用品 計	6,914百万円	7,095百万円	102.6%	26社
小鳥用品 計	2,216百万円	2,298百万円	103.7%	14社
昆虫用品 計	2,134百万円	2,089百万円	97.9%	11社
爬虫類用品 計	1,539百万円	1,603百万円	104.2%	12社
上記7カテゴリー合計	157,493百万円	157,703百万円	100.1%	118社
アンケート回答社合計数	118社	118社		: 同一社回答

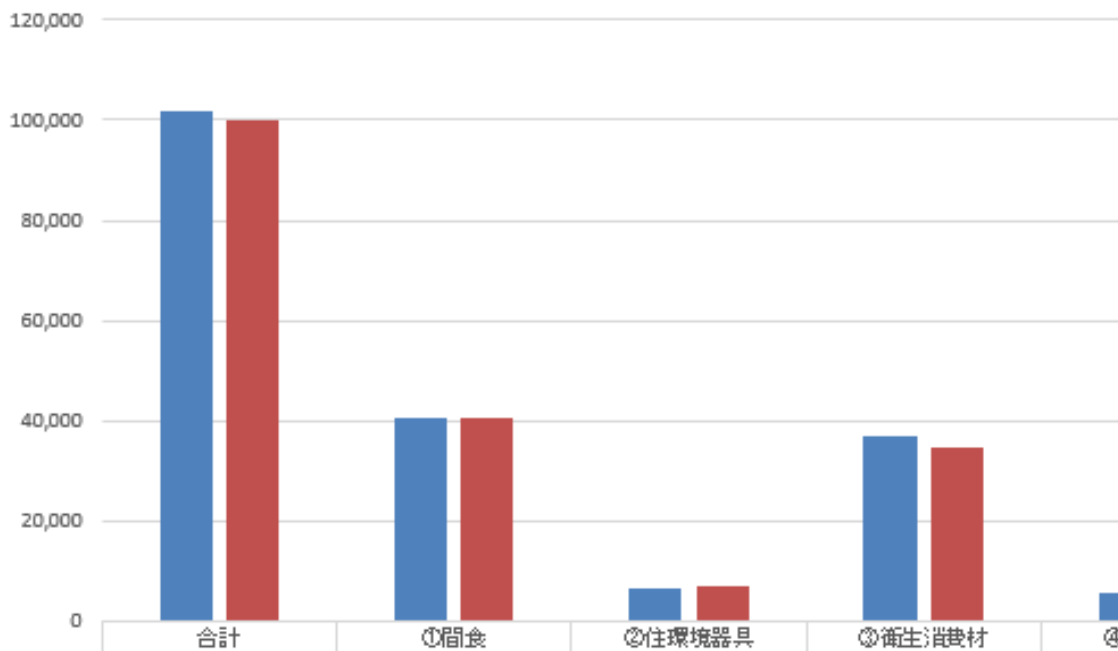
(業種別詳細調査結果は、別紙詳細をご参照ください)

1. 犬用品 まとめ

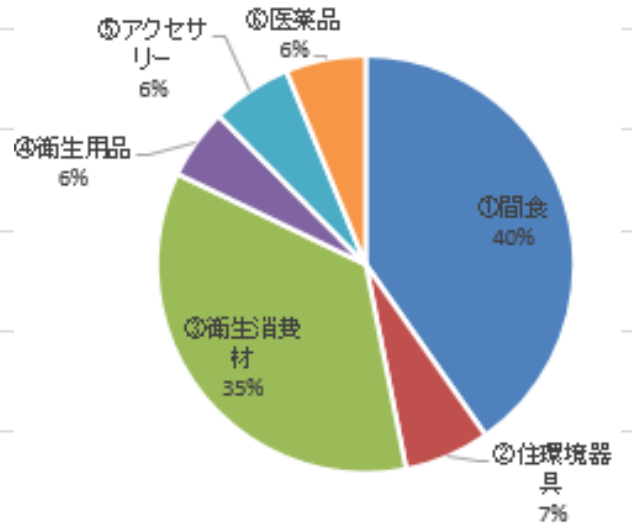
★25年度・26年度の状況と考察

- ・全体の約75%を占める衛生消費材(▲2,300百万)と間食(▲159百万)の落ち込みが影響し、前年割れ。
- ・その他の用品系は前年比:104%の伸長
- ⇒犬用品は一般家庭の家計に占める構成比が高いため、特に保存性の高い消費材で消費税増税前の「買いだめ」が発生したものと考えられる。また、犬の飼育頭数減少の影響もあると推察できる。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の分類別出荷構成◆



犬用品 集計実績

25年度出荷: **101,721百万円**

26年度出荷: **100,201百万円**

・26年度前年比: **98.5%**

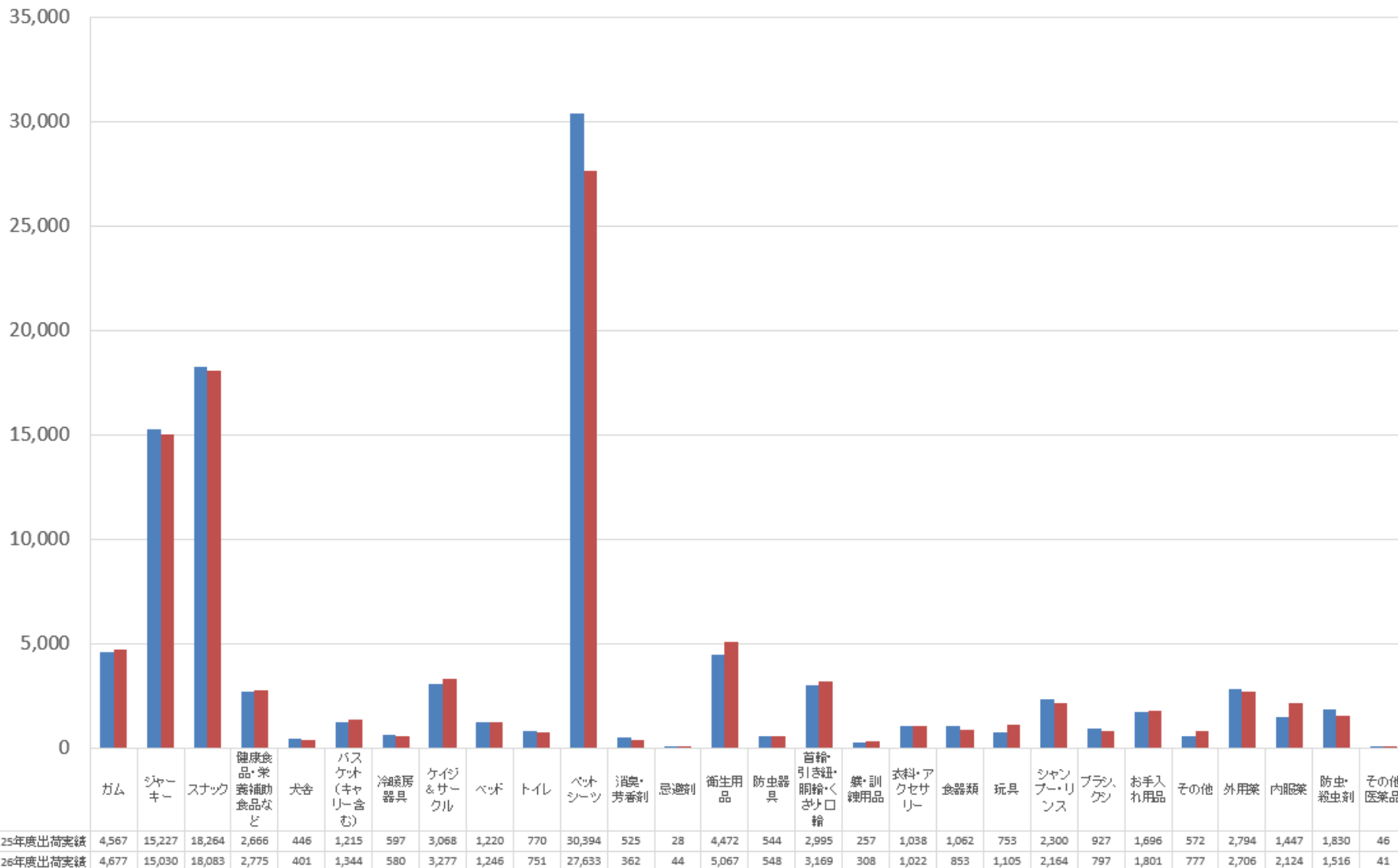
・ご回答社数: **83社**

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①間食・健康食品	間食	副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シーツ、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

犬用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

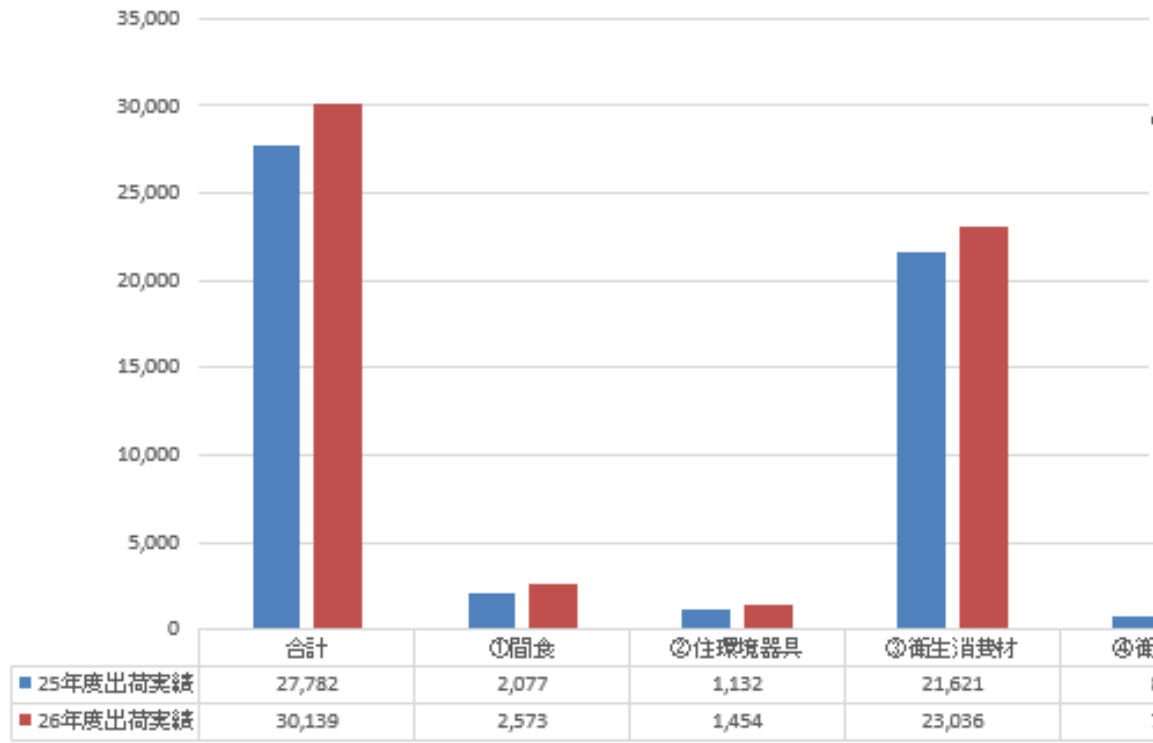


2. 猫用品 まとめ

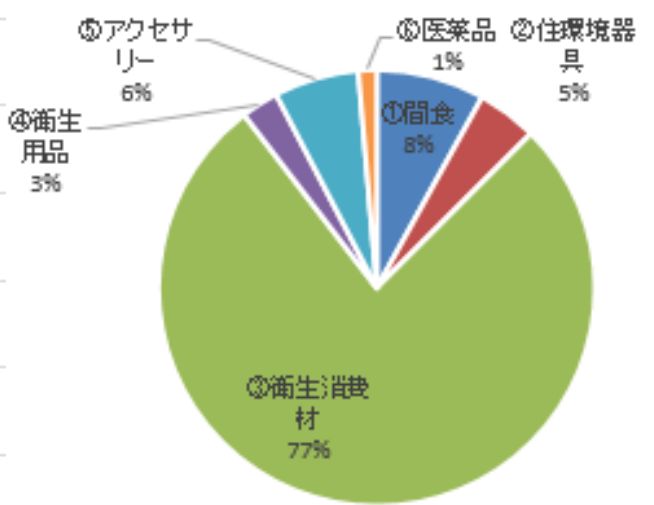
★25年度・26年度の状況と考察

- ・全体の約77%を占める衛生消費材の前年伸長は106.5%(+1,415百万円)
- ・間食:123.9%(+496百万円)、住環境器具:128.4%(+322百万円)、医薬品:138.3%(+126百万円)
- ⇒他の用品の伸長率と比較すると、衛生消費材の増税前の「買いだめ」の影響は犬と同様にあったものと見受けられる。猫の飼育頭数増加と高齢化に伴う投資により、堅調な伸びを示している。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の分類別出荷構成◆



猫用品 集計実績

25年度出荷: **27,782百万円**
 26年度出荷: **30,139百万円**

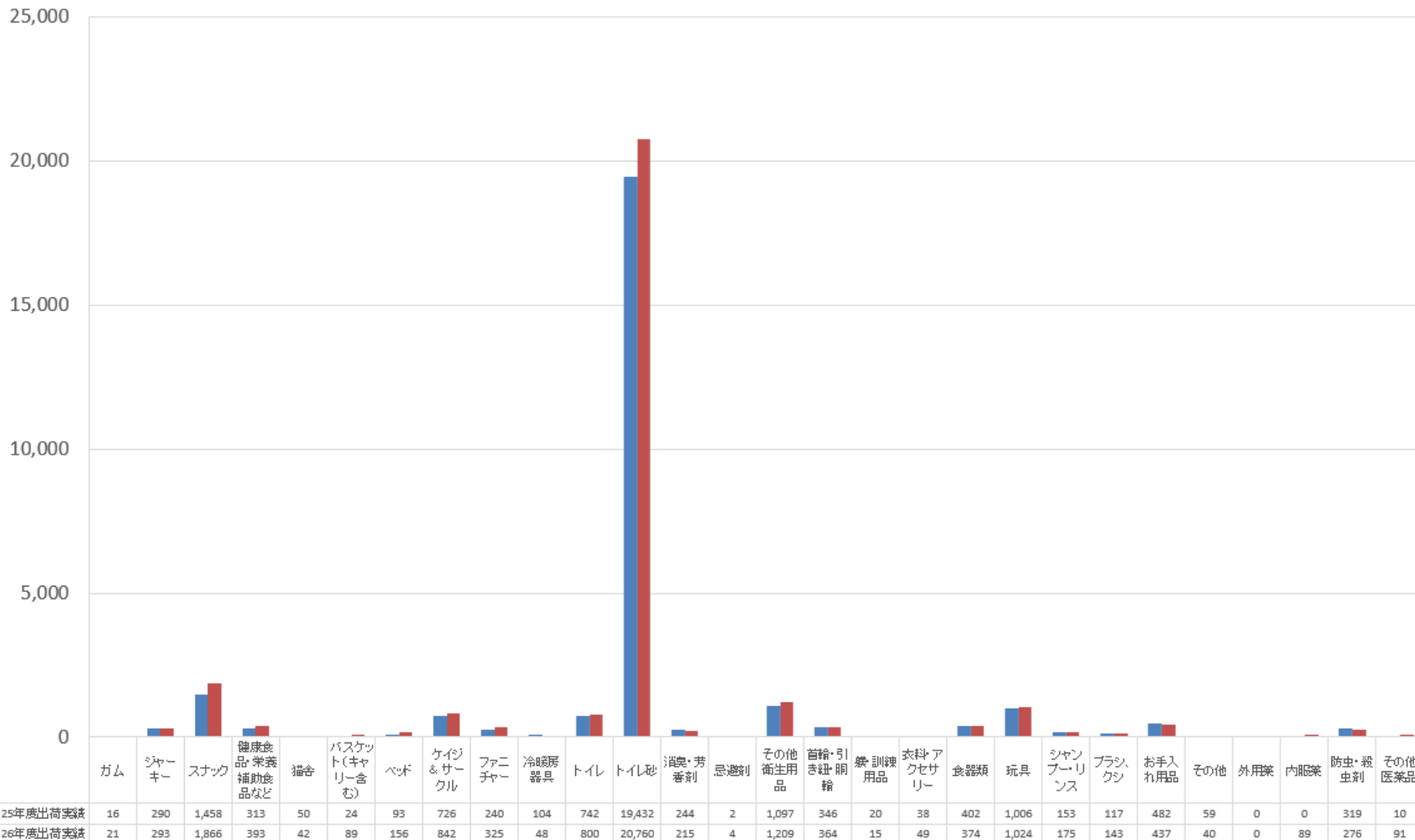
- ・26年度前年比:108.5%
- ・ご回答社数:56社

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①間食・健康食品	間食	副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シーツ、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

猫用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

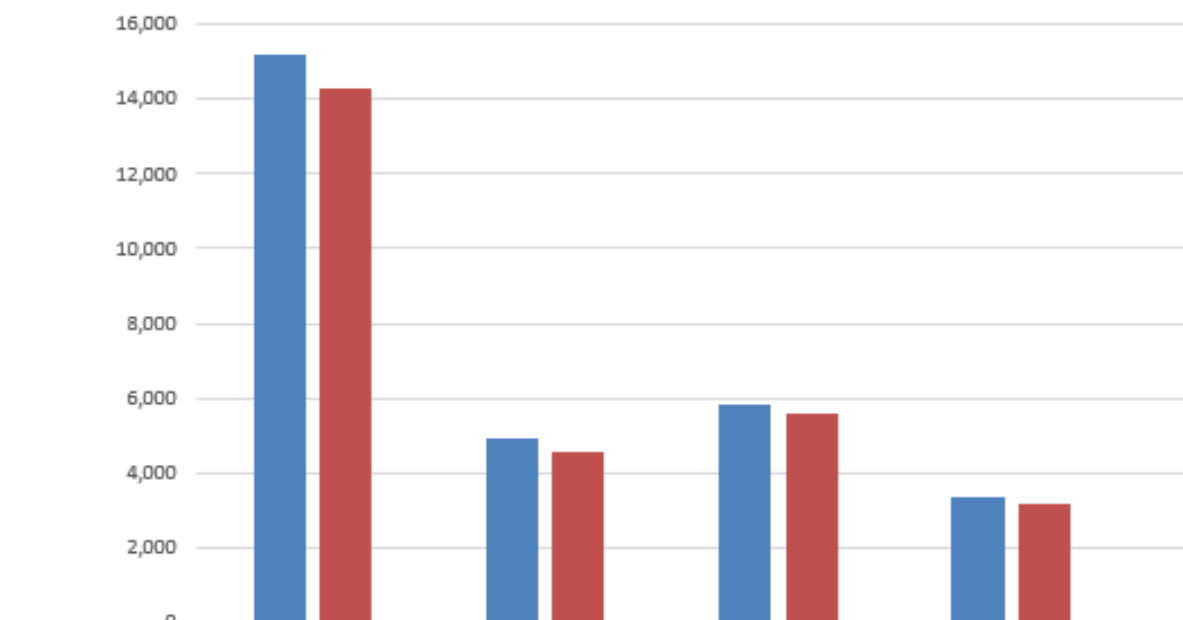


3. 観賞魚用品 まとめ

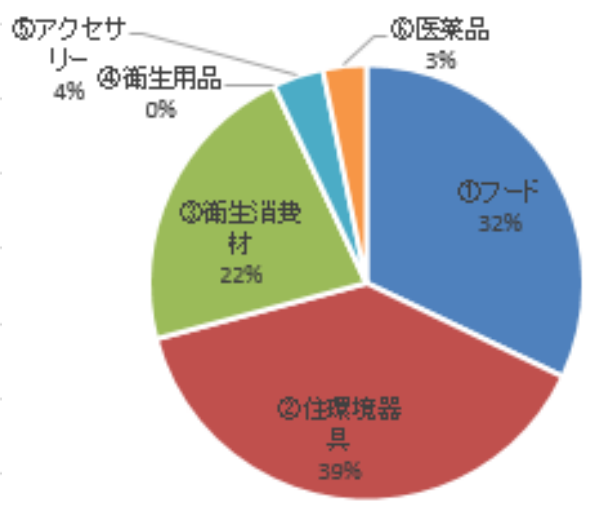
★25年度・26年度の状況と考察

・全体的に前年割れの結果となっている。
 ⇒趣味・インテリア・専門性の要素が高い分野で、飼育者のコスト感覚は高いものと思われる。
 フード・消費材ともに保存性も高いことから、増税前の「前倒し購入」「買いだめ」の影響があったものと考えられる。通年と同様に、同水準で推移している状況が推察できる。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の商品分類別出荷構成◆



	①フード	②住環境器具	③衛生消費材	④衛生用品	⑤アクセサリ	⑥医薬品
■ 25年度出荷実績	4,915	5,825	3,369	0	598	480
■ 26年度出荷実績	4,534	5,612	3,151	1	511	470

観賞魚用品 集計実績

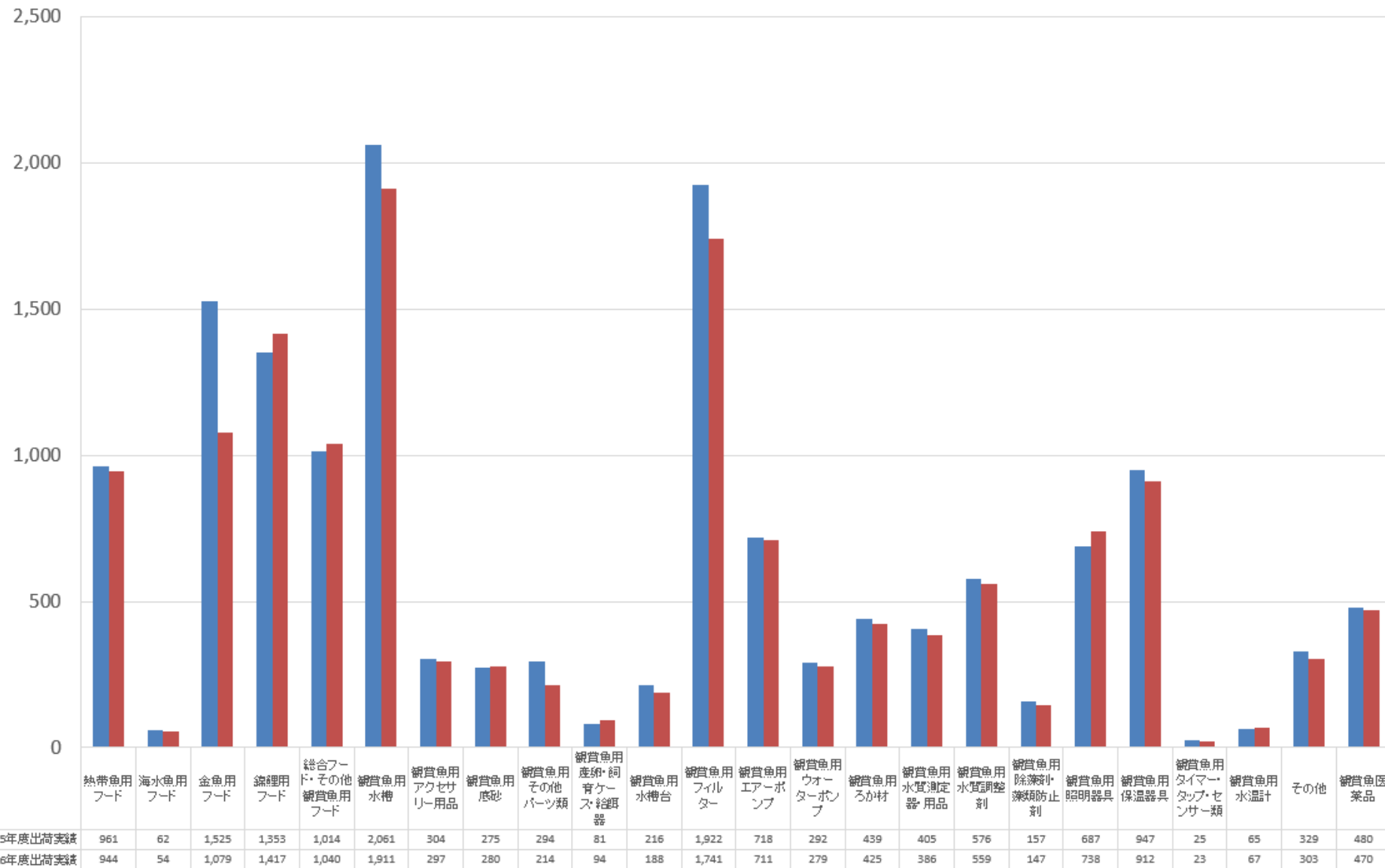
25年度出荷: **15,187百万円**
 26年度出荷: **14,277百万円**
 ・26年度前年比: 94.0%
 ・ご回答社数: 24社

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①フード	食品	主食、副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シーツ、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

観賞魚 用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

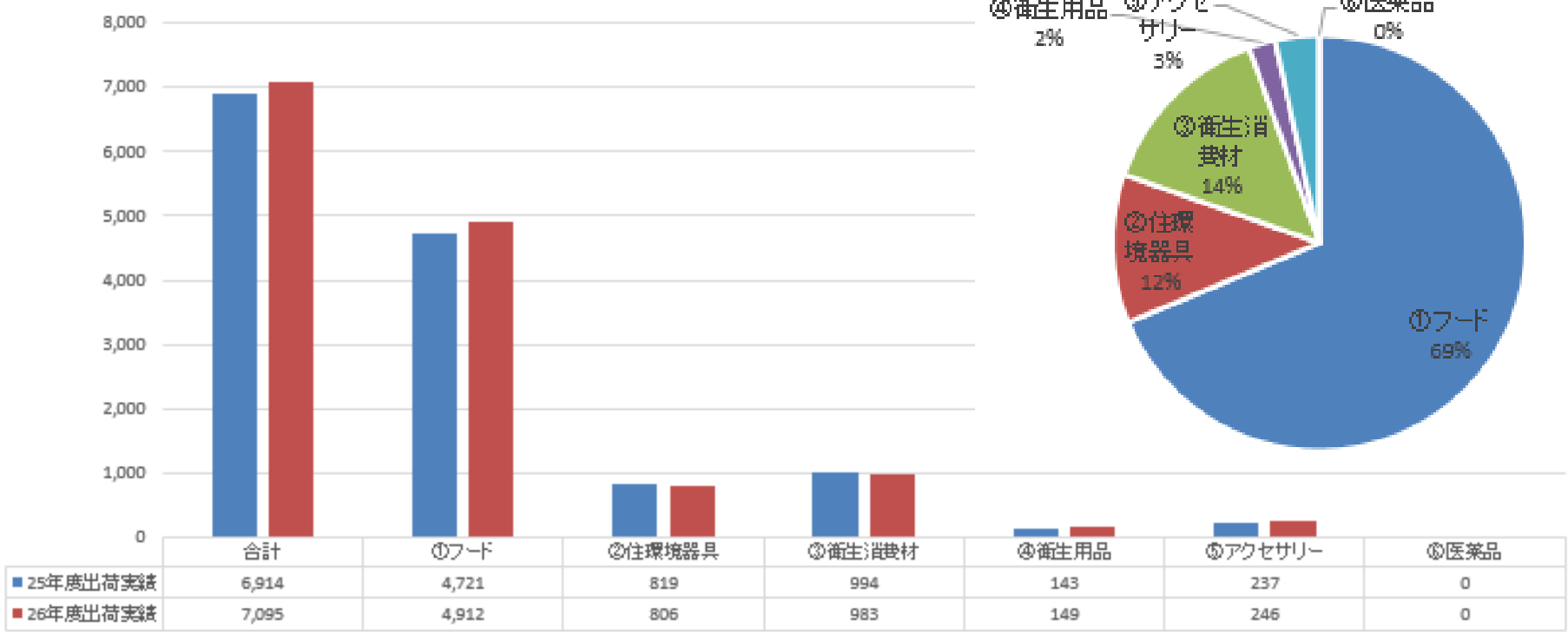


4. 小動物用品 まとめ

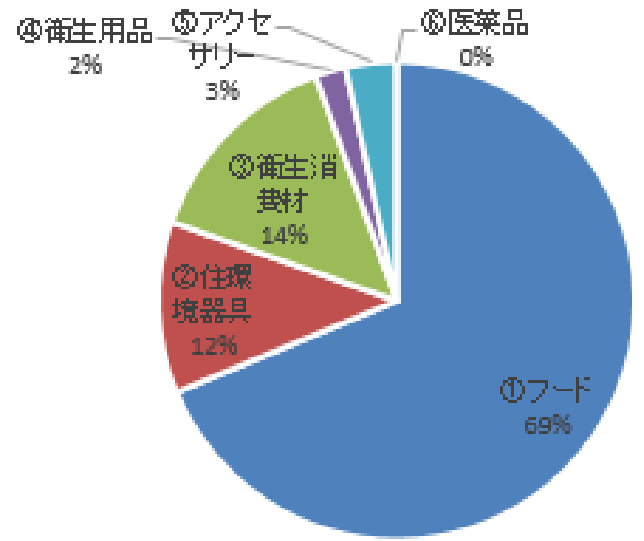
★25年度・26年度の状況と考察

- ・住環境器具 衛生消費材の出荷実績は微減、その他はやや上向きの実績。
- ⇒保存性の高いものや機器の、増税前の「前倒し購入」「買いだめ」が少々あったが、堅調に市場が安定しているものと考えられる。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の分類別出荷構成◆



小動物用品 集計実績

25年度出荷: **6,914百万円**
 26年度出荷: **7,095百万円**

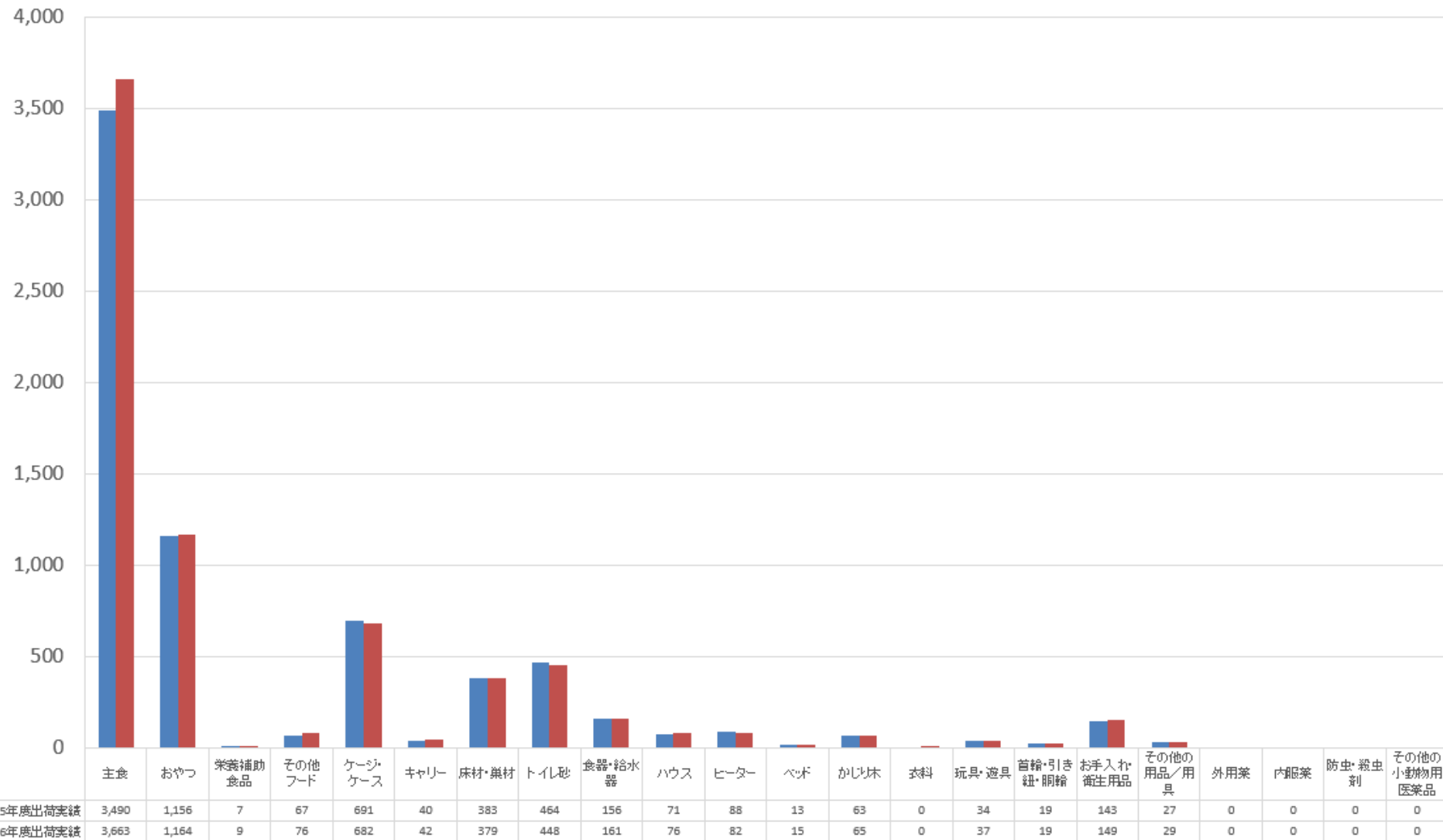
・26年度前年比: 102.6%
 ・ご回答社数: 26社

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①フード	食品	主食、副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シーツ、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

小動物 用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

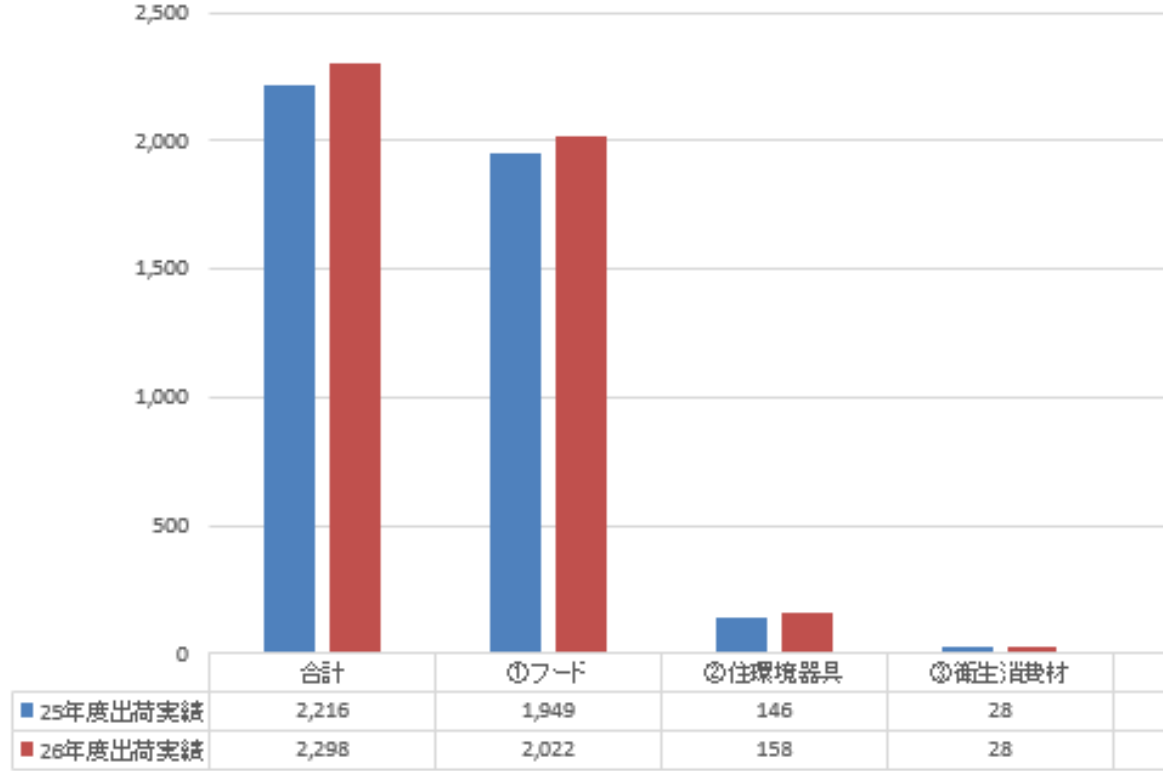


5. 小鳥用品 まとめ

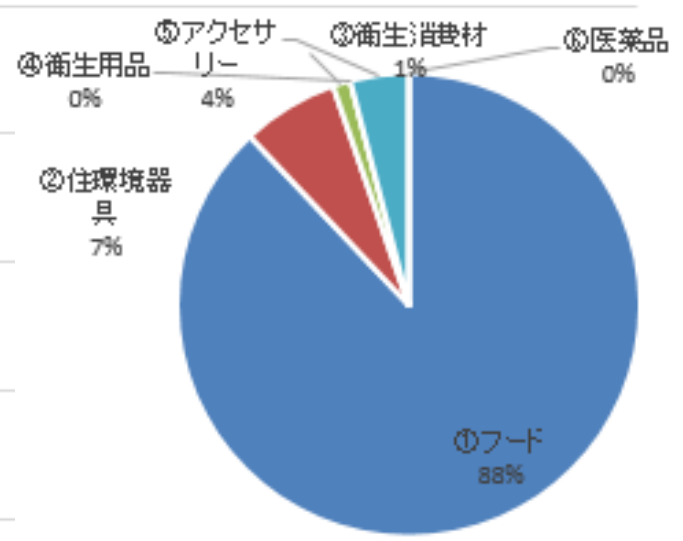
★25年度・26年度の状況と考察

- ・全体的に堅調な推移となっている。フードは前年比:103.7%
- ⇒約90%を構成しているフードが前年超過の結果となっている。
- 穀物系のフードは湿度に弱いため、高湿度の時期を迎える増税のタイミングでは「買いため」があまり発生しなかったものと推測される。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の商品分類別出荷構成◆



小鳥用品 集計実績

25年度出荷: **2,216百万円**
 26年度出荷: **2,298百万円**

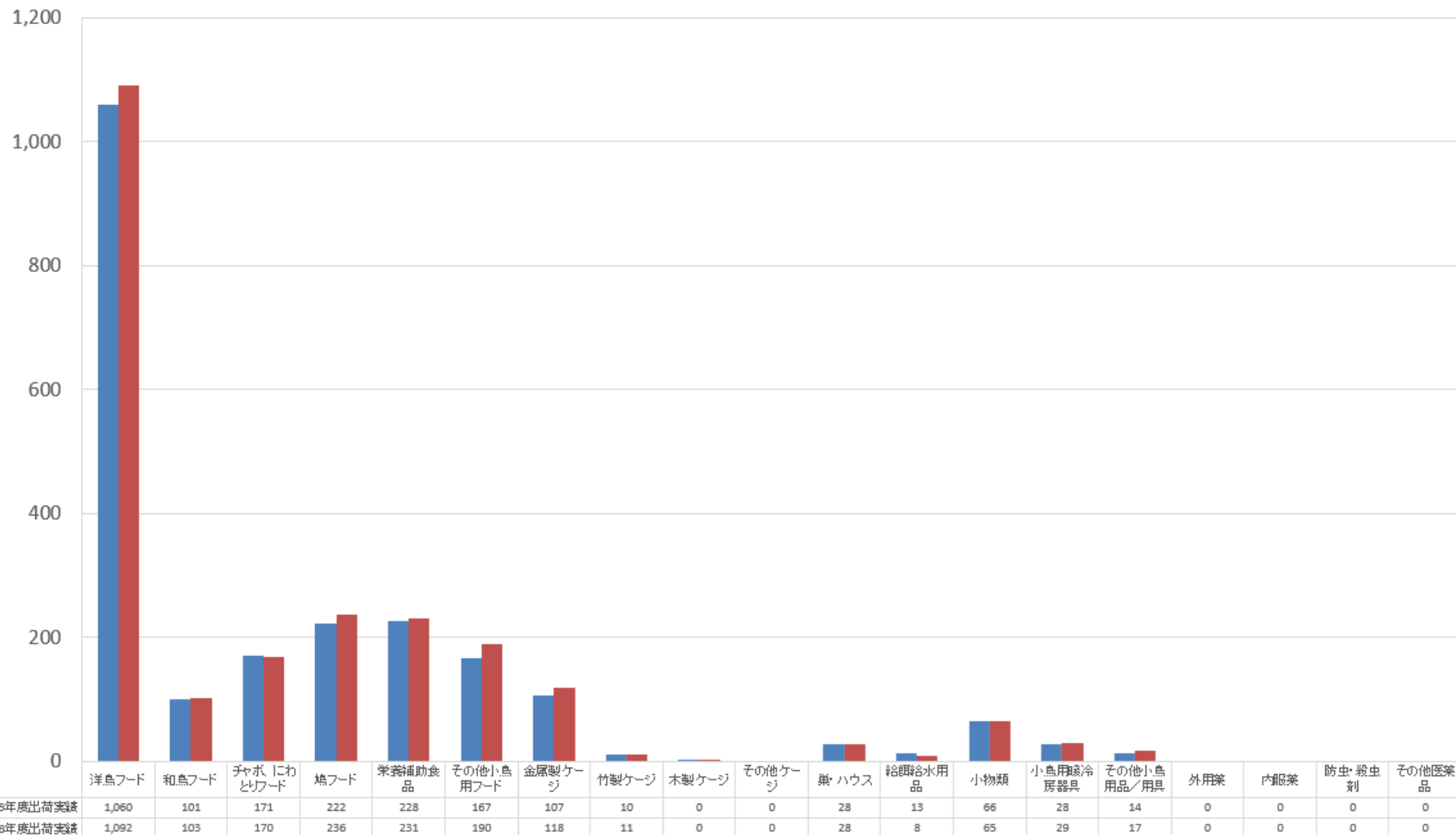
・26年度前年比:103.7%
 ・ご回答社数:14社

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①フード	食品	主食、副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シーツ、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

小鳥 用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

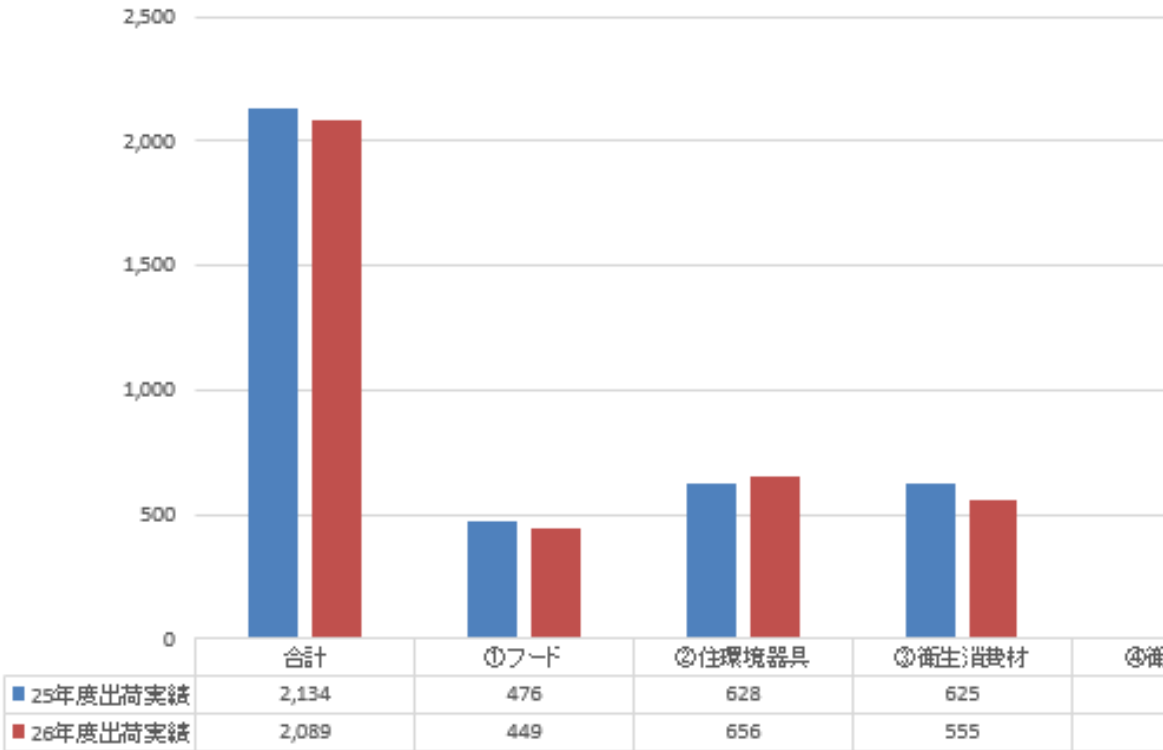


6. 昆虫用品 まとめ

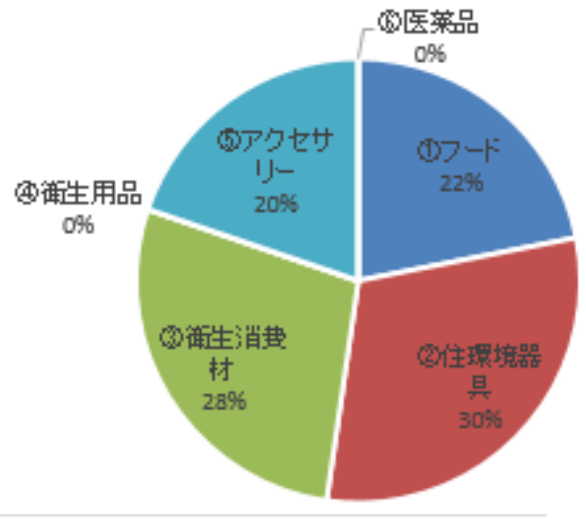
★25年度・26年度の状況と考察

・フードや衛生消費材のような、消耗品関連で、前年比91.2%と前年割れ
 ⇒消費税増税は時期(飼育のシーズン)的に影響はなかったと考えられる。
 西日本での冷夏や9月からの低温の影響により、夏の昆虫(カブトムシ・クワガタ)の寿命が短かったことが原因という可能性も考えられる。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の商品分類別出荷構成◆



昆虫用品 集計実績

25年度出荷: **2,134百万円**
 26年度出荷: **2,089百万円**

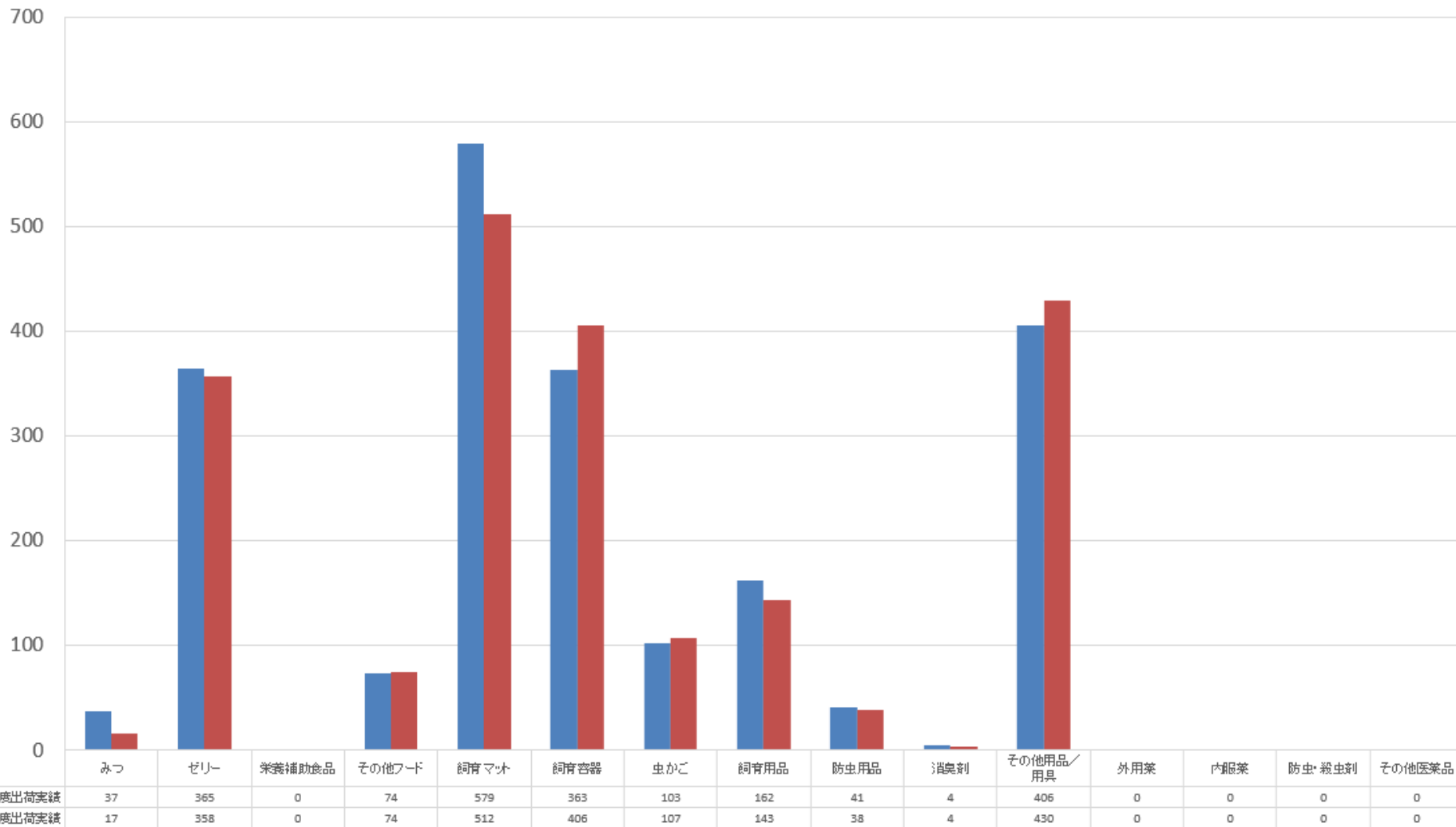
・26年度前年比: 97.9%
 ・ご回答社数: 11社

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①フード	食品	主食、副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シーツ、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

昆虫 用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

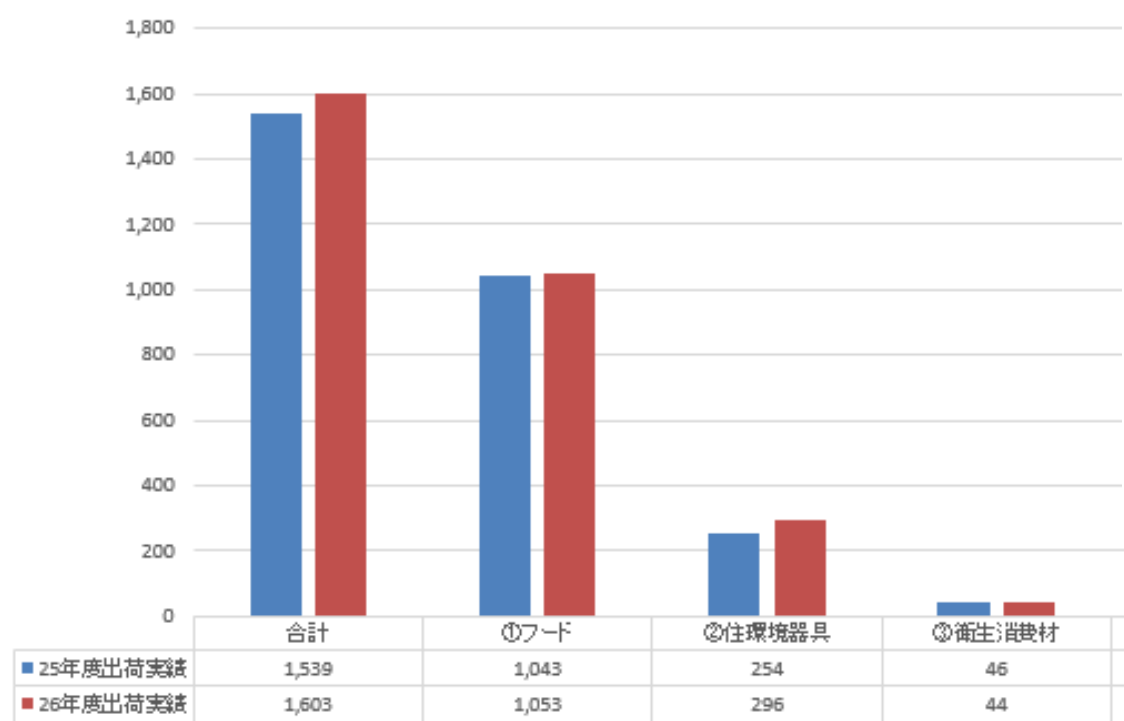


7. 爬虫類用品 まとめ

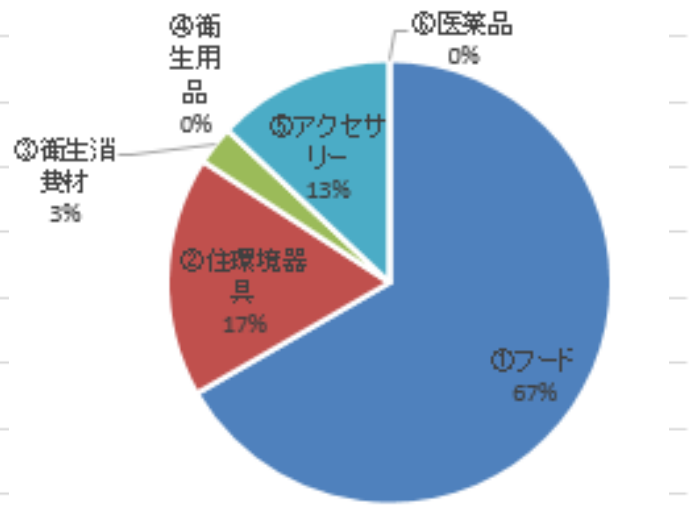
★25年度・26年度の状況と考察

・衛生消費材以外は前年超過で、特に住環境器具は116.5%の伸長。
 ⇒観賞魚と同様に、コスト意識の高い分野ではあるが、飼育コストは観賞魚に比べて低いことと増税のタイミングがヒーター等の購入シーズンではないことから影響は無かったものと考えられる。むしろ、冷夏の影響で、住環境器具の中の保温器具の販売が159.6%の伸長(詳細推移を参照)と大幅に需要が高まったものと考えられる。

◆25・26年度の商品分類別出荷推移◆



◆25・26年度の分類別出荷構成◆



爬虫類用品 集計実績

25年度出荷: **1,539百万円**
 26年度出荷: **1,603百万円**

・26年度前年比: 104.2%
 ・ご回答社数: 12社

【商品分類に関する情報】

分類	分類概要	主な分類例
①フード	食品	主食、副食、補助食品など
②住環境器具	住環境を快適に保つための元となる機材	ケージ、キャリー、飼育容器、連暖房・証明器具など
③衛生消費材	住環境の衛生を保つための交換頻度の高い消費財	トイレ消耗品、シート、土、砂、消臭剤、水質調整剤など
④衛生用品	生体自体に使用する衛生を保つための用品	シャンプー、ブラシ、お手入れ用品など
⑤アクセサリ	生体の生活の利便性や個性を上げる用品	リード、衣料品、食器、玩具など
⑥医薬品	生体の治療に使用する薬品関係	外用薬、内服薬など

爬虫類 用品カテゴリの詳細推移

単位:百万円

